

第五 經理處理の狀況

一、軍資金の決算狀況

支那派遣軍々資金の決算狀況は未だ其の途上にして各決算要員を督勵して之が完結に銳意努力中であるが終戦中の頻繁な兵力轉用と終戦後の一時的混亂及び通信連絡の杜絶等に基因して資金系統は相當程度に複雑化し、軍資金の移動狀況把握に多大の支障を來してゐる。特に終戦直前に滿洲及び南方方面に移動せる部隊の移算狀況は不明確であつて其の調査には八方手段を講じてゐる。

昭和十二年以降總支出額四、三〇〇億の巨額に達する軍資金決算の終結は右の事情の様を幾多の困難

0050

な條件伏在してゐるので相當長時日を要すると豫想
せられるが今秋通常議會には概成報告提出可能を目
途として鋭意努力中である。

現在迄の決算業務の進捗状況は

- 一 北支那方面軍 七月完結豫定
- 二 第二十三軍 在香港部隊を除く外完結
- 三 第六方面軍 八月完結豫定
- 四 第十三軍 六月完結豫定
- 五 第六軍 六月完結豫定

隸下各軍の決算は右の様
に八月迄完結豫定であつて
之が總括決算は十月迄に
一應概成させ、完全を終了
は今年末と豫定してゐる

0051

二七失金竝に聯合國側押收金の状況

七失金竝に押收金の状況で現在迄に判明したものは左の通りで其の外若干ある見込であるが復算未完結の爲不明である。

七失金竝に押收金状況調書

軍		六		所屬	部	隊	名	金額	場	所	責任者	区分
陸軍	第三師團	陸軍	第三師團	陸軍	第三師團	經理部	經理部	五〇〇〇〇〇〇	中華民国江蘇省	鎮江大馬路軍政部	陸軍主計大尉 永藤好文	〃
								二〇〇〇〇〇〇〇	中華民国江蘇省	南京	陸軍主計中尉 橋本真吉	押
								三五四八〇五二二七〇	中華民国山東省	兗州	陸軍主計中尉 坪井巳義	〃

0052

六等軍第三十四師團	五〇、〇〇〇、〇〇〇	中華民國廣西省	昭三、二九	陸軍司令部	打越實	七
西軍經理部	三〇、〇〇〇、〇〇〇	全縣陶家村	昭九、一二〇	陸軍司令部	西義正	〇
〇、第百十六師團	一、二、三、三、〇〇〇	中華民國湖南省邵陽縣	昭三、四、二	陸軍司令部	石日正治	押
北支隊第一四三大隊	〇	上海戰俘集中營馬				

三、派遣軍の復員に伴ひ中國に引渡し、設置し、諸建物

鐵道、道路、飛行場施設等を調査し對聯合國賠償問

題接衝資料整備を目的として四月以來業務を開

始してゐる。財産業務は順調に進捗して概ね十月

頃迄には相當詳細なる資料完整するものと考

へてゐる。

0053